



●**地域とのつながりが深まる**
地域の大人や異なる世代との交流を通して、地域への愛着やコミュニケーション力を育みます。

●**新たな仲間との交流**
学校や世代を超えた仲間と出会い、ともに活動することで多様な考え方に触れながら交流の輪が広がります。

●**専門的な指導が受けられる**
地域の指導者や経験者から学ぶことで、より専門的な技術や知識に触れることができ、一人一人の成長につながります。

●**子どもたちの選択肢が増える**
学校の枠を超えて、さまざまなスポーツや文化芸術活動に参加できるようになり、自分の「好き」や「得意」を見つけてくるきっかけにつながります。

広がる選択肢と可能性



地域クラブ活動「みきティブ」の魅力

～中学生の挑戦を地域で応援～

図 (市)文化・スポーツ課



部活動の地域展開には多くのメリットがある一方で、継続していくための課題もあります。指導者の確保や活動場所の調整、安全管理など、安心して活動できる環境づくりが求められています。さまざまな課題がありますが、子どもたちが安心して活動を続けられる環境をめざし、市では、学校・地域・保護者と連携しながら、持続可能な地域クラブづくりを進めています。子どもたち一人一人の「やってみたい」という思いを大切に、地域全体で成長を支える環境づくりにこれからも取り組んでいきます。

持続可能な地域クラブ活動へ



地域クラブ活動(みきティブ)展開スケジュール!



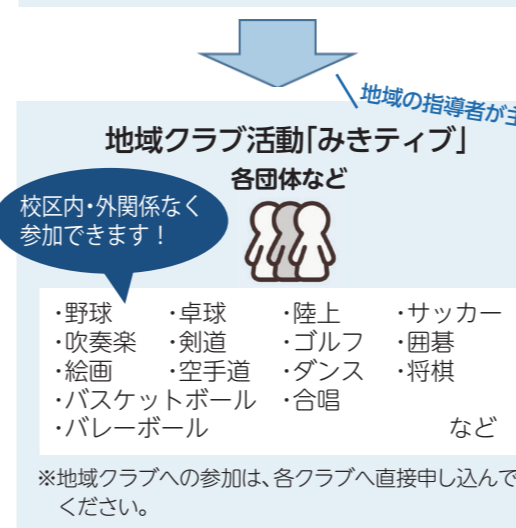
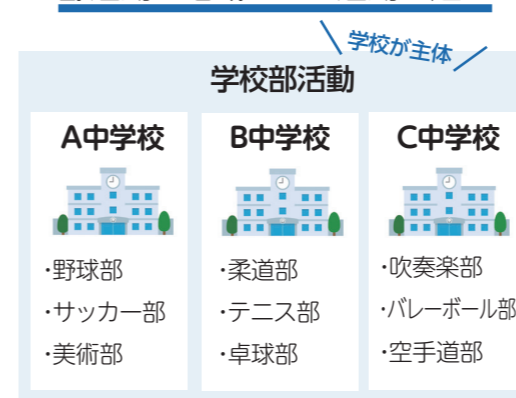
みきティブサポートセンターを開設しました!



指導者の方々がみきティブの活動に専念できるよう、事務的な支援を行う「みきティブサポートセンター」を教育委員会 文化・スポーツ課内に開設しました。各クラブにおける運営のフォローや各所との連絡調整などの運営業務、生徒や保護者からの問い合わせや相談業務を行います。

問い合わせ先: (市)文化・スポーツ課 ☎ 82-2000(内線: 3553)
✉ bunka@city.miki.lg.jp

部活動と地域クラブ活動の違い



少子化による生徒数の減少に加え、教員の勤務環境改善を図る取組が進められている中、中学校の部活動をこれまでの形で維持することが難しくなっています。そこで、子どもたちが将来にわたってさまざまな活動に積極的に参加できるように、「部活動の地域展開」を進めています。

三木市の部活動は、運動部が令和9年の夏頃まで、文化部が同年12月までで終了し、令和10年1月から地域クラブ活動へ完全展開する予定です。

令和10年1月から、
中学校の「部活動」が変わります

「やりたいことに応える」を合言葉に、子どもたち一人一人の興味や夢に合わせた活動の場を広げ、豊かな学びや経験につながる地域クラブ活動「みきティブ」をめざし、学校や地域の皆さん、保護者、指導者が連携し、子どもたちが安心して楽しく参加できる場所をつくっています。

現在、46団体(令和8年6月末時点)の「みきティブ」認定クラブがあります。囲碁、将棋、和太鼓など、これまで部活動にはなかった種目にも挑戦できるなど、子どもたちの挑戦する心を育みます。

三木市がめざす
地域クラブ活動「みきティブ」

スポーツクラブ21 よかわ野球クラブ



チームづくりは
生徒が主役

指導者
穂積豊彦さん

小学生を対象に運動野球教室を長年続けていますが、子どもたちが中学校へ進学した際、部活動がなく、野球を続ける場所がないという現状の中、「なんとか続けられる場所をつくりたい」という思いから地域クラブを立ち上げました。野球を楽しむことはもちろんですが、自分たちで考え、責任を持って行動する力を身につけてほしいと思っています。そのため、キャプテンを中心に日々の練習メニューは子どもたち自身が考えています。また、どんなチームを作るのかも自分たちで考えています。チームスポーツを通して、自分の役割や立場を理解し、仲間と協力する力を育んでほしいと思っています。そして、高校生になっても大人になっても野球を続けてほしいと思います。



学校の部活動には野球部がないので、地域クラブで野球ができることを嬉しく思っています。練習では、小学生も一緒に楽しく野球をしています。キャプテンとして、チームをまとめ、練習メニューを考えるなど、責任感を持って活動しています。まずは体験から、ぜひ僕たちと野球をやってみませんか？



荒田朋郎さん
中学3年

Keonani Hula Studio (フラダンス)



どんな世界でも
自信を持って挑戦を

指導者
ちさとKeonani 門戸さん

ハワイでフラダンスに出会い、その魅力に惹かれて学び始めました。現地で学ぶ中で教わったのは、「日本人として、自国の文化を理解した上で他国の文化を学ぶことの大切さ」です。教室では、フラダンスだけでなく、日本の文化やハワイの文化、ハワイ語についても伝えていきます。子どもたちは、さまざまなステージを経験し、自信をつけてきました。地域クラブでは、大人と一緒に活動できるため、社会の小さなルールを自然に学ぶことも魅力です。地域全体で子どもを見守る力の大きさを実感しています。多くの中学生に活動を知ってもらい、学校を超えた交流の場になれば嬉しいです。



地域クラブでは、他の学校の友達との新しい交流が生まれ、仲間の輪が広がりました。振り付けやステップを何度も練習し、新しい曲を踊れるようになったときは達成感を感じています。また、大好きなフラダンスを通して、笑顔が増えました。今後は、さらに大きなステージで踊れるように頑張ります。



後藤梨里衣さん
中学2年

ウィズ緑が丘バスケットボールクラブ



バスケットボールを
楽しめる環境を作りたい

指導者
大坪良一さん

20年以上にわたり、ミニバスケットボールを指導してきました。教え子たちが中学校へ進学した後も「続けたい」という思いから地域クラブ活動につながりました。幼い頃から指導していた子が大きくなってバスケットボールを続けていると聞くと嬉しく感じます。ここでは、勝利をめざすだけではなく、まずはバスケットボールを楽しんでほしいと思っています。また、地域クラブは、学校や学年を超える交流ができることも魅力の一つ。初心者も受け入れ、子どもたちが気軽にバスケットボールに親しめる環境づくりを大切にしています。バスケットボールといえばウィズ緑が丘というように、このクラブを長く続けたいと思っています。



小学1年の時からバスケットボールを続けています。コーチの丁寧な指導を受け、ドリブルやパスが上手になりました。年に1度の合宿は、仲間と過ごす時間が楽しく、毎年楽しみにしています。学校の部活動でもバスケットボール部に所属しており、将来は、プロバスケットボール選手をめざしています。



巖本真愛斗さん
中学1年

FC GIANT KILLING (サッカー)



子どもたちの
チャレンジを支えたい

指導者
安随賢太さん

保護者の方から地域クラブを立ち上げてほしいという声をいただき、チームを立ち上げました。本チームは、学校や学年の違いを超えて、壁のない関係でのびのびとサッカーを楽しめる場所です。休日には、友人や大学生も指導者として来てくれ、みんなでサッカーを楽しんでいます。子どもたちには、サッカーを好きなスポーツとして長く楽しんでほしいと思っています。また、うまくいかなかったときは、次はこうしてみよう自分一人で行動できる主体性も育ててほしいと思っています。将来、このチームからプロサッカー選手が生まれたり、成長した子どもたちがまた指導者として戻ってきてくれたらとても嬉しいです。



地域クラブには、いろんな学校の子がいるので、初対面のメンバーとも積極的に声をかけ合いながら練習に取り組み、コミュニケーション能力が高まったと感じています。学校では陸上部に所属し、体力づくりにも励んでいます。これからも、楽しみながら、練習をしっかりと、強くなりたいです。



小紫心瑛さん 若田琳太郎さん
中学1年

子どもたちの「やりたい」を応援

指導者の皆さんは「子どもたちのために何かしたい」「活動の場を提供したい」と熱い思いを持つばかりです。また、地域クラブでは一緒に活動される大人も含め、多くの地域の方々に見守られながら中学生たちは活動をしています。

当初は「部活動がなくなるのはさみしい」という声もありましたが、最近では「学校部活動にはやりたい部活動がなかったが、地域クラブは校区に関係なく選べるため嬉しい」「他校の子と関わると学校とは別のコミュニティができる」「小学生から継続して同じクラブに在籍し続けられる」と前向きな意見も増えています。

市では、子どもたちの「やりたい」を大切に、これからも生徒や保護者、学校、地域の皆さんなどの声を聞き、三木市に合った地域クラブの形をつくりあげていきます。地域クラブの関係者の思いや子どもたちの願いを叶えていくため、これからも温かく応援していただければと思います。



あなたの「好き」を見つけよう

学校の枠を超えて、新しい仲間と一緒に地域クラブ活動に参加してみませんか。仲間と楽しく活動しながら、新しい経験や出会いを広げてみましょう。

各クラブにかかる費用や活動日、活動場所などについての詳細は市ホームページをご覧ください。

▲ホームページ

子ども将棋教室



相手の気持ちを考えられる力を育みたい

日本の伝統文化である将棋の奥深さや魅力に触れ、子どもたちに親んでもらいたいという思いで指導をしています。将棋は、思考力や集中力が養われ、さまざまな場面で役立つ力を身につけることができます。また、世代を超えた交流が生まれ、生涯を通して楽しめることも大きな魅力の一つです。対局に真剣なまなざしで向き合う子どもたちの姿や成長していく様子を見るのが何よりの喜びです。将棋では、自分の動き、それに対する相手の反応、さらにその先の展開までを読むことが基本となります。相手の立場や気持ちを考えられる力を育みながら、将棋を通して人としても成長してほしいと願っています。



子どもの頃にお父さんと将棋をしたことがきっかけで将棋を始めました。地域クラブでは、さまざまな世代の人と交流しながら将棋を楽しんでいます。一戦一戦に集中し、対局を振り返りながら次につなげることを大切にしています。学校では陸上部に所属しているので、スポーツも将棋も頑張りたいです。



Nicoiro.Dance School(ダンス)



自分自身を表現する力を伸ばしたい

「中学生になってもダンスを続けられる場所をつくりたい」という思いから地域クラブを立ち上げました。学校の枠を超えて友達ができ、世界が広がることは地域クラブの魅力だと思います。指導では、楽しむことを何よりも大切にしています。勝ち負けではなく、自分らしく表現することを重視し、一人一人に声をかけながら、笑顔になれる雰囲気づくりを心がけています。発表をきっかけに自信を持って踊れるようになった子どもたちの姿はとて嬉しく感じています。今後は、地域のイベントやステージ出演にも挑戦していこうと思います。ダンスが大好きという子どもが増えたら嬉しいです。



SNSでダンス動画を見て、自分もやってみたくて、ダンスを始めました。難しいダンスを覚えられた瞬間はとて嬉しいです。また、ダンスを始めてから前よりも自分に自信を持てるようになりました。これからは筋トレを頑張って、もっと難しいダンスをカッコよく踊れるようになりたいです。



三木市剣道クラブ



剣道の基本は人としての土台づくり

子どもたちにもっと剣道に親んでもらい、競技の普及につなげたいという思いがあり、指導に携わっています。地域クラブの魅力は、さまざまな社会人が関わることで、多角的な視点から子どもたちを育てられるところにあると思います。剣道は技術を学ぶだけでなく、礼儀や思いやり、自分に負けない心を育てる「人間形成の道」でもあります。稽古中、子どもたちが大きな声を出しながらあきらめずに向かってくる姿を見ると、とても頼もしく感じ、自分を高めようと努力している姿に成長を感じています。剣道を通して、子どもたちには社会の中で役に立てる、正直で誠実な人に育ってほしいと思っています。



地域クラブでは、さまざまな技をもつ仲間や多くの先生から指導を受けることができ、自身の成長につながっています。部活動とは違い、いろんな学校の子が集まるため、それぞれの考え方や性格を尊重しながら関わることを大切にしています。誰よりも大きな声を出し、仲間と切磋琢磨しながら成長していきたいです。

